学校番号	１３０２

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館）						
副教材等	使用教材なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保健では健康的な生活行動について学びます。身近な健康問題を取り上げながら、個人の健康課題を知り、その解決方法を考えます。また、人々の健康を保持増進したり、安心・安全な社会をつくるために行われている社会的な取り組みについて知ることで、個人が適切な意思決定・行動選択を行うことができるような力を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・将来にわたって明るく健康的な生活を形成、維持していく知識や能力を身に付ける。
・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に考えることができるようにする。
・健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人的な対応と関連づけられるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 1.事故とその被害 2.事故の発生に関連する要因 交通における安全 1.交通事故防止のための取り組み 2.交通事故と運転者の責任 応急手当の意義とその基本 1.応急手当の意義 2.応急手当の手順 日常的な応急手当 1.けがに応じた応急手当 2.熱中症の応急手当 心肺蘇生法 1.心肺蘇生法の意義と原理	a:事故の現状とその発生要因についての知識を身に付ける。特に、交通社会で必要な資質と責任や交通事故などによる傷害がない安全な社会づくりについての知識を身に付ける。 応急手当の必要性や意義、心肺蘇生法の手順、AEDの使い方を実践したり、その注意点についての知識を身に付ける。 b:授業内容をプリントにまとめることができる。小テスト・定期考査において、知識を活用し適切な考えを書くことができる。 c:プリントのまとめとともに、自分の言葉でメモを取ることができる。毎時間授業内でプリントをまとめ、提出できる。	定期考査	定期考査 小テスト	プリント等の提出物 授業内の取り組み

2学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 1.思春期の体と健康 2.思春期の心と健康 性意識と性行動の選択 1.性意識とその尊重 2.性に関する情報と性行動 妊娠･出産と健康 1.受精･妊娠･出産 2.母子保健サービスの活用 避妊法と人工妊娠中絶 1.家族計画の意義と避妊法 2.人工妊娠中絶	a:思春期における心身の変化、健康課題についての知識を身に付ける。 性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについての知識を身に付ける。妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについての知識を身に付ける。 家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響についての知識を身に付ける。 b:授業内容をプリントにまとめることができる。小テスト・定期考査において、知識を活用し適切な考えを書くことができる。 c:プリントのまとめとともに、自分の言葉でメモを取ることができる。毎時間授業内でプリントをまとめ、提出できる。	定期考査	定期考査 小テスト	プリント等の提出物 授業内の取り組み
3学期	生涯を通じる健康	結婚生活と健康 1.結婚生活の基盤となる心身の発達 2.結婚生活と家族の健康 中高年期と健康 1.加齢による変化と健康 2.高齢者の健康を支える取り組み 働くことと健康 1.働くことと健康のかかわり 2.働き方と健康問題の変化	a:結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解し、結婚生活を健康に過ごすための知識を身に付ける。 加齢にともなう心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについての知識を身に付ける。 働く人の健康を保持増進するために、職場や個人でできる取り組みについての知識を身に付ける。 b:授業内容をプリントにまとめることができる。小テスト・定期考査において、知識を活用し適切な考えを書くことができる。 c:プリントのまとめとともに、自分の言葉でメモを取ることができる。毎時間授業内でプリントをまとめ、提出できる。	定期考査	定期考査 小テスト	プリント等の提出物 授業内の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度